



## 牀座施 (じょうさせ)

何も持たなくとも誰にでもできる施し「無財施」のうち今日は第六番目の「牀座施(じょうさせ)」です。「牀座施」とは、「あなたをお待ちしていたのですよ」と暖かな座席をもうけてお迎えするサービス、施しをいうのです。

どんな人とも、お念佛のなかで出会わせていただいたら、「ようこそようこそ、お互いによろこびあえる「牀座施」。お互に暖かな座席設けて喜びあえるのでありますまい。

人の家を訪問したとき、私のための座席も何も用意してなくて、いわば迷惑扱い厄介者扱いをうけた時の不愉快さに対して、反対に、「ようこそようこそ。あなたをお待ちしていました」と、暖かい座席が用意してあつたときの嬉しさは、格別なものではありませんか。

ところが私達、ついつい来てくださる人を選び好みし、もてなしにも差別をつけてしまいかがちです。

「あなたなど来てくれては迷惑」といわんばかりの扱いをしてしまって、それでその人との人間関係をダメにしてしまうことが随分あったように思います。

如来さまは、わたしの知らないずっと昔から、「設我得仏十方衆生:若不生者不取正賞」と呼びつづけてくださいます。十方衆生をみなみなほとけの座につかせないなら、わたしはほとけとはならないと。十方衆生を分け隔てなく「ご正客」と呼んでくださるのです。

十方微塵世界の、どこで何をしている人も、いえ、ひょっとしたら、人から毛嫌いされる五逆や謗法の者をこそ、「ようこそようこそ」と座席設けてはたらいてくださる仏さまが南無阿弥陀仏の如来さまです。

その南無阿弥陀仏のお慈悲のなかにあら私たちです。あの人この人、みんな十方衆生。だれもお念佛のなかのきょうだいです。

に「念佛の声を 世界に 子や孫に」

ご協力に感 謝  
「勝林寺報」101号

昭和五六年九月一日に第一号を発行しています。

何号までつづくであろうかという不安を抱きながらの発行でありました。しかし何号か続けていくうちに、たくさんの応援激励してくれる人々もでてきてくださりました。すすんで発送や配達をひきうけてやってくださる人もあります。それでは勝林寺の、念佛の御同朋みんなで作っている「寺報」になつているように思います。みんなに育てあげられて百号までつづけてきました。いま感謝の気持ちいっぱいであります。



アメリカから  
こんなにちは

カリホルニア大学バークレー校の大学院で仏教(インド哲学)を専攻している後継住職功は「哲学博士号」取得に必要な英語学(英語・チベット・インド古語・中国語)とフランス語・ドイツ語の試験に合格、昨年11月には最後の難関である口頭試問も通過。いま論文提出にむけて語学(英語・チベット・インド古語・中国語)とフランス語・ドイツ語の試験に中等校で公立小学校二年生、いろいろな民族の子供のなかで学んでいます。由衣は昨年九月キンダーガーデン(一年生)に入りました。英語のおうた、日本語の九九を電話で聞かせてくれます。

1990年 平成2年のけいかく

一月	七日	総代会
二月	十四日	五日出石組総代研修
三月	二十一日	代議員会
四月	二十八日	佛婦評議員会
五月	二十九日	佛壯総会
六月	三十日	ご巡教隨行
七月	六・七日	春彼岸会
八月	二十四日	代議員会
九月	三十一日	佛婦評議員会
十月	二十六・二十七日	研修旅行
十一月	二十七日	念佛奉仕団
十二月	二十九日	念仏奉仕団
一月	三十日より	佛婦総会
二月	八日	孟蘭盆戦没者追悼会
三月	十六日	秋彼岸会
四月	八日	お盆参り
五月	二十六日	永代経
六月	二十七日	別修報恩講
七月	七日	教区御同朋総結集大会
八月	二十六日	玉日会
九月	二十六日	みのりを聞く会
十月	二十六日	十六夜会
十一月	二十六日	「勝林寺報」発行
十二月	二十六日	「勝林寺報」発行
一月	二十六日	十日と
二月	二十六日	勝林寺テレホン法話